

学力向上の取組

教育庁指導部 主任指導主事 山本 周一

新学習指導要領が3月に告示され、7月7日には移行措置のパブリックコメントに寄せられた意見についての結果が公表されました。今回の改訂では、外国語教育において、小学校から高等学校までの一貫して育成を目指す資質・能力が反映されています。

しかしこうした考え方は、外国語教育だけに限ったものではありません。児童・生徒一人一人にとっては、常に学びは連続しており、どの教科においても既習の内容や経験を拡張しながら知識や技能を身に付けたり、思考力や表現力等を伸長させたりします。したがって、小学校・中学校・高等学校でそれぞれが他の学校種で学びの内容や学び方を知り、それを単元の導入等にかし児童・生徒一人一人の学びをつなげることが必要です。

例えば、小学校第2学年のかけ算九九について考えてみます。かけ算九九というと、どうしても暗記するものという印象があるかもしれません。しかし、かけ算九九をつくるという学習や出来上がった九九表から規則を見いだす学習などは、小学校第4学年で学習する計算のきまり（いわゆる交換法則、分配法則、結合法則）などの素地をつくる学習になっています。そして小学校第4学年では、かけ算九九の学習を既習事項として学習を進め、中学校においては、文字を導入して一般化を図るわけです。このように素地を培うこと、既習事項を活用して理解を拡張することなど、学びのつながりを教員が意識し、それぞれの学びをデザインしていくことが大切です。

掲載内容

- 「くらしと環境 学習Web」について
- 東京ベーシック・ドリルソフトについて

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存じですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、「学び応援ページ」に掲載しています。

（東京都教育委員会ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

「学び応援ページ」を御活用ください！

**東京ベーシック・ドリルも
掲載しています！**

東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このリンク用バナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jpへメールを御送信ください。

「くらしと環境 学習Web」について

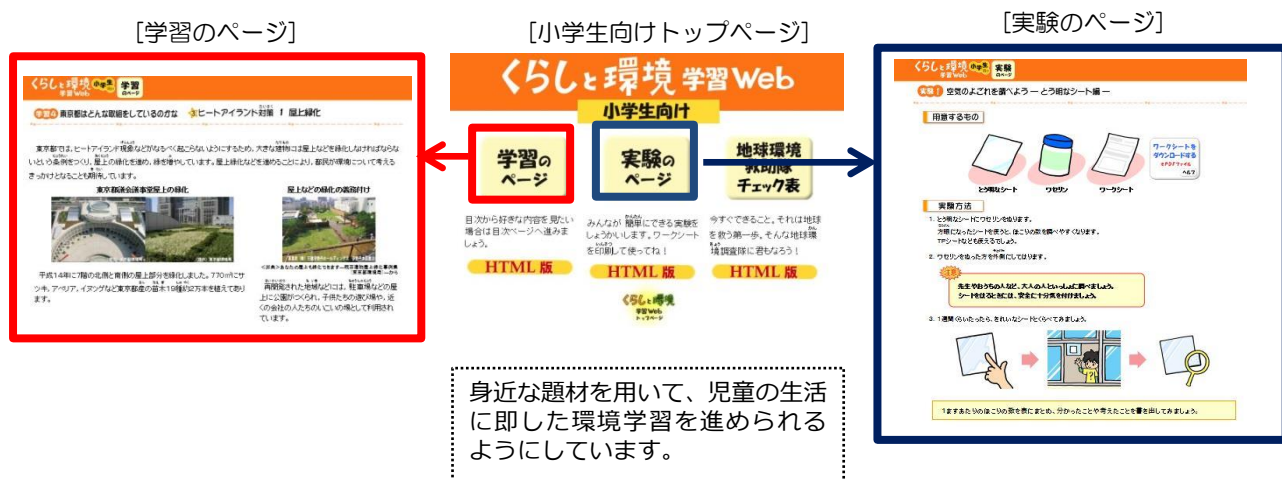
「くらしと環境 学習Web」は、地球規模の環境問題についての学習や私たちにできる取組等について、小学生向け、中学生向けと発達段階に合わせて活用できるホームページです。授業ですぐに使えるワークシートや指導内容に関連する情報等も掲載しています。

(URL : <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/kankyo/>)

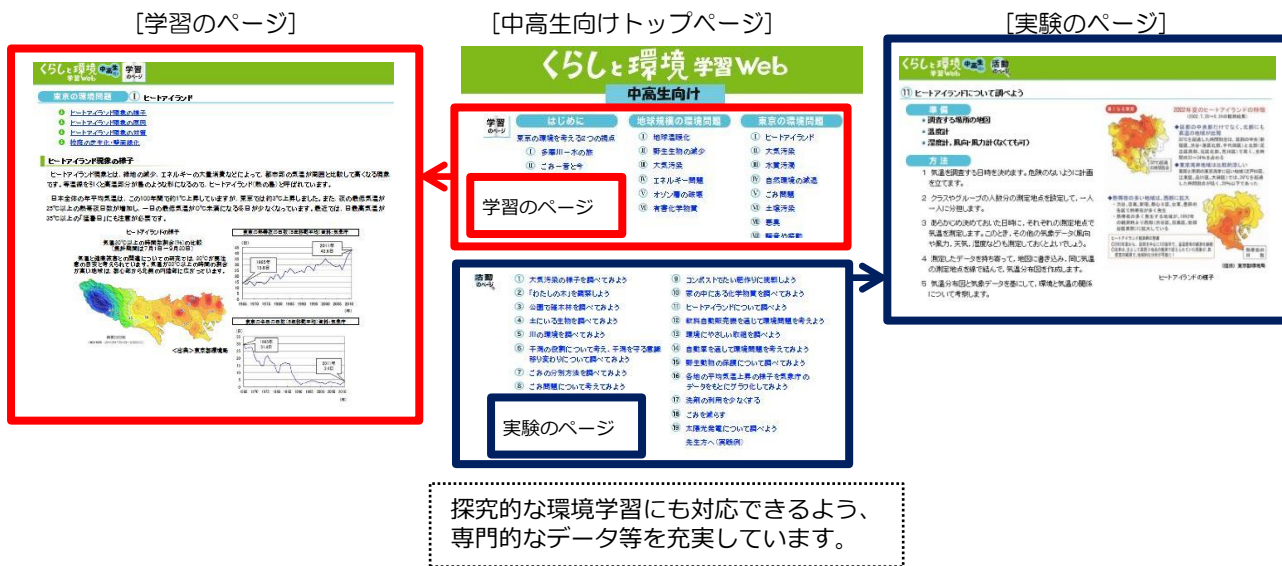


環境教育が！キュラム

■ 「小学生向けのページ」の概要



■ 「中学生向けのページ」の概要



「学習のページ」では…
児童・生徒自身が学ぶことができるように、図やイラストを用いたり、様々なデータや研究成果などに基づく詳しい解説を掲載したりして、環境について学べるよう構成しています。

「実験のページ」では…
実験方法を分かりやすく解説するとともに、必要なワークシートをダウンロードしてすぐに活用することができます。また、活動の取り組み方やレポートのまとめ方などについて説明しています。

総合的な学習の時間における調べ学習用の資料や、先生方の教材研究の資料としてもお使いいただけるように工夫しています。



東京ベーシック・ドリルソフトについて

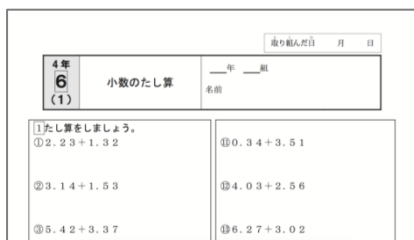
東京都教育委員会では、児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、繰り返し取り組める教材「東京ベーシック・ドリル」を作成・配布し、各学校での活用を推進してきました。

このたび、パソコン、タブレット端末等を使って「東京ベーシック・ドリル」の解答・採点等ができる「東京ベーシック・ドリルソフト」を開発しました。

1 児童・生徒ができること

(1) 問題の形式・内容

- ・ 東京ベーシック・ドリル(プリント)がそのまま画面に表示されます。
- ・ 東京ベーシック・ドリルの問題の他にも、発展問題(算数・数学)等も収録しています。



東京ベーシック・ドリル(プリント)



パソコン



タブレット端末

(2) 解答・採点の流れ

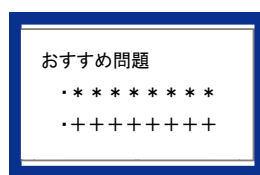
- ・ 学年、教科を選択して、取り組むプリントを表示する。
- ・ キーボードで答えを入力したり、ペンを使って手書きで入力したりして解答する。
- ・ 全ての問題に解答したら、採点をします。採点には二つの方法があります(先生による採点機能もあります)。
 - ① 自動採点(キーボードで解答した問題は、自動的に採点されます。)
 - ② 自己採点(手書きで解答した問題は、表示される正答を見ながら、自分で正誤を入力します。)
- ・ 採点した結果を先生に提出します(先生が採点結果を見られるようになります。)
- ・ 次に取り組むプリントを選択して学習を続けます。

(3) 診断シート(算数・数学)

算数・数学には、診断シートがあります。診断シートは、各学年の基礎的・基本的な問題で構成されていて、各学年のつまずきの状況を把握することができます。東京ベーシック・ドリルソフトでは、診断シートに取り組み、採点をすると、誤答に関連した「練習シート」の一覧が画面に表示されます。



「診断シート」に取り組み



誤答に関連した「練習シート」の一覧が表示される



一覧から選択した「練習シート」に取り組み

2 先生ができること

(1) 採点

- ・ 児童・生徒が取り組んだ解答済み、採点済みプリント一覧を表示することができます。
- ・ 未採点の答案を採点したり、採点済みの答案の採点を修正したりできます。



(2) 取組状況の確認

- ・ 児童・生徒が取り組んだプリントの一覧を表示します。
- ・ 採点済みプリントの得点を表示することができます。



3 学校で使えるようにするには

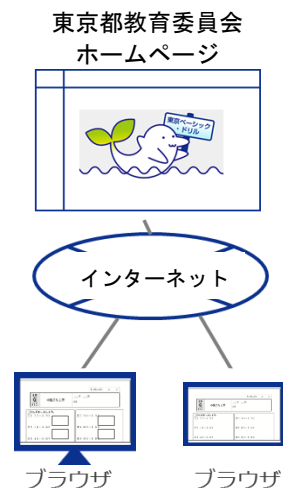
7月中旬に、東京ベーシック・ドリルソフトを収録したDVDを、区市町村教育委員会を通して、各学校に配布しました。パソコンやタブレット端末、校内サーバにインストールしてお使いください。(インストールには、管理者権限のパスワードが必要です。)



4 インターネットでも取り組みます

東京ベーシック・ドリルソフトは、インターネットでも取り組むことができます。インターネット・ブラウザに問題を表示し、解答・採点ができるので、家庭学習における活用ができます。(提出や、先生による取組状況の確認等は行えません。)

8月中旬に東京都教育委員会のホームページに掲載予定です。



今回御紹介した東京ベーシック・ドリルソフトの使用が有効な指導場面、プリントの使用が有効な指導場面がそれぞれあります。児童・生徒の実態、場面に応じて、これからも東京ベーシック・ドリルを活用し、児童・生徒の学力向上への取組をお願いいたします。

東京ベーシック・ドリル

検索

